

## ジンバブエ

## 主要データ

国名〔英名〕	ジンバブエ〔Republic of Zimbabwe〕
面積(km <sup>2</sup> )	390,757
海岸線延長(km)	0
人口(百万人)	13.8
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	35.3
GDP(十億US\$)	17.11
一人当りGDP(US\$)	1,239.40
主要鉱産物：鉱石	石炭、銅、金、リチウム、ニッケル、白金、レアアース、タンゲステン、タンタル
主要鉱産物：地金	銅、ニッケル、フェロクロム
鉱業管轄官庁	鉱山・鉱業開発省(MMDA, Ministry of Mines and Mining Development)
鉱業関連政府機関	ジンバブエ鉱物マーケティング社(Minerals Marketing Corporation of Zimbabwe)
鉱業法	Mines and Mineral ACT(1996年改定)
ロイヤルティ	ベースメタル2%、白金10%、その他貴金属4%、金7%、工業用鉱物2%他
外資法	Zimbabwe Investment Authority Act(ZIA)
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	The Environmental Management Act The Water Act The Forest Act
鉱業公社	Zimbabwe Mining Development Corporation(ZMDC)
鉱業活動中の民間企業	Zimplats、Impala Platinum、Anglo American Platinum、Sibanye
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	特に無し。
2017年のトピックス	2017年12月、新ムナンガグワ政権は、外資系企業に現地法人に対し株式51%の譲渡を義務付ける現地化・経済権限拡大法(Indigenisation and Economic Empowerment Act)につき白金及びダイヤモンド鉱山事業を除いて廃止すると発表した。

## 1. 鉱業一般概況

ジンバブエは、世界2位の白金及びダイヤモンド埋蔵量を有する国であり、クロム、金、リチウム、石炭、ニッケル、ウラン、タンタル等、約40の鉱物の産出が報告されており、60種以上の鉱種が賦存していると言われている。2017年の同国GDPにおける鉱業セクターの割合は13%を占める。国土の北東から南西に数百km広がるGreat Dykeは、世界で2番目のPGM埋蔵量を持つとされ、同国では世界最大級の白金プロジェクトとしてZimplats社のZimplats鉱山、Impala Platinum社及びSibanye社のMimosa鉱山、Anglo Platinum社のUnki鉱山が名を連ねる。また、同国は世界有数のリチウム鉱床があり、リチウム生産国としてのポテンシャルも注目されており、Bikita Lithium社のBikita Mineral鉱山も有する。さらに、グラファイト及びマンガンもポテンシャルの高い鉱物として開発が検討されている。

同国のムガベ政府（当時）は、国内における加工・高付加価値化を進めており、ジンバブエの白金鉱山企業に対し、同国での鉱物加工をするように圧力をかけ、2015年には白金未加工鉱石の輸出に15%の課税を導入しようとしたが、企業が製錬及び精錬所の建設に少なくとも2年間は要すると訴えたことにより延期した経緯がある。その後2017年9月には国内の白金鉱山会社に対して現地製錬所の設立を義務化し、2018年1月からPGM鉱石の輸出に15%の課税をする法案が可決された。

しかし、2017年11月に同国でムガベ大統領の後継者争いを発端に国軍によるクーデターが勃発し、ムガベ大統領は退陣を余儀なくされ、後継者の一人と言われていたエマーソン・ムナンガグワ（Emmerson Mnangagwa）氏が新たな大統領に就任した。

ムナンガグワ政権は、同国への外国投資を増やすことを目的に、国際社会との連携強化、経済改革を推進。クーデター後初となる2018年7月30日に実施された同国の大統領選では現職のムナンガグワ大統領が当選し、投資家に向けた鉱業セクターを推進していくとしている。

ジンバブエ鉱業協会が2017年4月に発行した“2017 State of Mining Industry Survey report”によると、2017年の鉱業所得全体に占める鉱物の割合は、金40%、白金17%、パラジウム11%、ニッケル5%、ダイヤモンド9%、石炭5%、クロム10%、その他3%となっている。同レポート内で実施された同国で操業する鉱山会社を対象にした調査によると、鉱山会社の80%は政策環境が改善していると答え、政府は業界の懸念に対し対話をする姿勢があると評価された。

## 2. 鉱業政策の主な動き

ジンバブエの鉱業法（Mines and Mineral ACT）は、1961年に制定され、その後幾度かの改定がなされている。鉱業政策の中でも特筆すべき点は、外資鉱山会社は、保有する全ての鉱山の権益51%を現地資本に売却することが義務付けられていることである。これは2007年6月にジンバブエ政府から国会に提出された「現地化・経済権限拡大法（Indigenisation and Empowerment Act）」が、国会での審議を経て2007年9月に制定されたことによるものである。2017年12月、ムナンガグワ新政権は、外資系企業に現地化・経済権限拡大法を白金及びダイヤモンド鉱山権益を除いて同法律の廃止を発表。さらに、未加工及び低加工の白金輸出に15%の課税をする法案は外国投資家を呼び込むために2019年1月まで延期することを明らかにした。

2018年5月、チタンド鉱山鉱業開発大臣は鉱山会社のZimbabwe Stock Exchange（ZSC）への上場義務を鉱業法改定案から削除する方針を示し、翌6月、ジンバブエ国会は外国鉱山会社の同国での上場義務を記した条項を削除した鉱業法改定案を可決したと発表した。また、同改定案では、鉱山大臣に対し「鉱業発展の利益になる」と見なす鉱物を、大統領との協議後、戦略鉱物として指定する権利を与えている。

## 3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

### (1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2015年 (千 t)	2016年 (千 t)	2017年 (千 t)	対前年 増減比(%)	世界シェア (%)	ランク
クロム	211.0	226.4	1,674.0	639.3	5.0	4
ニッケル	16.1	17.7	16.6	-6.3	0.8	20
プラチナ(t)	12.6	15.1	14.3	-5.6	7.9	3

（出典：World Metal Statistics Yearbook 2018）

(2) 主要金属地金生産量

僅少

(3) 主要金属地金消費量

僅少

(4) 主要金属輸出量

表 3-3. 精鉱中含有量・地金輸出量

鉱種	2015年 (千 t)	2016年 (千 t)	2017年 (千 t)	対前年 増減比 (%)	主な輸出相手国
クロム 鉱石	9.9	205.2	-	-	南ア、モザンビーク
ニッケル 鉱石	166.6	240.6	-	-	南ア
地金	0.02	0.0	-	-	南ア
プラチナ 地金 (t)	17.2	2.0	-	-	南ア

(出典：Global Trade Atlas)

(5) 主要金属輸入量

表 3-4. 精鉱中含有量・地金輸入量

鉱種	2015年 (千 t)	2016年 (千 t)	2017年 (千 t)	対前年 増減比 (%)	主な輸出相手国
ボーキサイト	3.7	0.5	-	-	モザンビーク
鉄鉱石	0.0	0.0	-	-	南ア
コバルト鉱石 (t)	0.0	0.0	-	-	DR コンゴ

(出典：Global Trade Atlas)

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (権益：%)	鉱種	2017年 生産量 (千 t)	備考
Buchwa 鉱山	Zimbabwean Iron Steel Works	鉄鉱石	-	操業停止中。
Bikita Lithium 鉱山	Bikita Minerals (100)	リチウム	1.0	Bikita Minerals 社、 生産拡張におけるプ ラントアップグレー ドのため 700 万 US\$を投資。
Great Dyke 鉱山	Moti Holdings Limited (70), Farvic Consolidated Mines Pvt (30)	クロム鉄鉱	-	
Kamativi 鉱山	Zimbabwe Mining Development Corporation (100)	錫 タンタル	-	

Mimosa 鉱山	Sibanye Stillwater. (50), Impala Platinum Holdings Ltd. (50)	白金 (千 oz) パラジウム (千 oz) ロジウム (千 oz) ルテニウム 金 ニッケル (千 t) 銅 イリジウム コバルト	121.6 96.9 10.5 - - 3.4 - - -	2016年4月、Sibanye は Aquarius Platinum から権益 50%を買収完了。
Renco 鉱山	RioZim (100)	金 (oz) 銅	-	
RHA 鉱山	Premier African Minerals Ltd. (49), National Indigenisation & (51)	タンゲステン	1.2	2018年、現地化・経済権限拡大法の改定に伴う権益移行の話し合いで操業一時停止。
Trojan 鉱山	Bindura Nickel Corp. Ltd. (100)	ニッケル コバルト 銅	- - -	2016年12月、拡張工事の実施が決定。生産拡大と鉱山寿命を5年延長する。
Unki 鉱山	Anglo American Platinum Ltd. (100)	白金 (千 oz) パラジウム (千 oz) ロジウム (千 oz) 金 (千 oz) 銅 (千 t) ニッケル (千 t)	74.6 64.4 7.4 9.2 2.0 2.2	
Zimplats 鉱山	Zimplats Holdings Ltd. (100)	白金 (千 oz) パラジウム (千 oz) 金 (千 oz) ロジウム (千 oz) ニッケル (千 t) 銅 (千 t) コバルト (t)	281 233 29 25.4 5.1 3.9 67	拡張工事が完了し、2018年4月にフル稼働を予定。

(出典：各社の2017年年次報告書、ウェブサイト、African Mines Handbook)

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

製錬所名	権益所有企業 (権益：%)	鉱種・形態	生産量	備考
Bindura 製錬所&精錬所	Bindura Nickel Corp. (100)	ニッケル 銅 コバルト	- - -	2017年1月、製錬所改修プロジェクトは78%完了したと発表。2018年4月までに完了を目指すとした。
Empress 精錬所	RioZim Ltd. (100)	ニッケル 銅	- -	2016年12月主要サプライヤーからの鉱物供給不足のため一時操業停止中。

出典：各社、Annual Report 2017、African Mines Handbook 2018

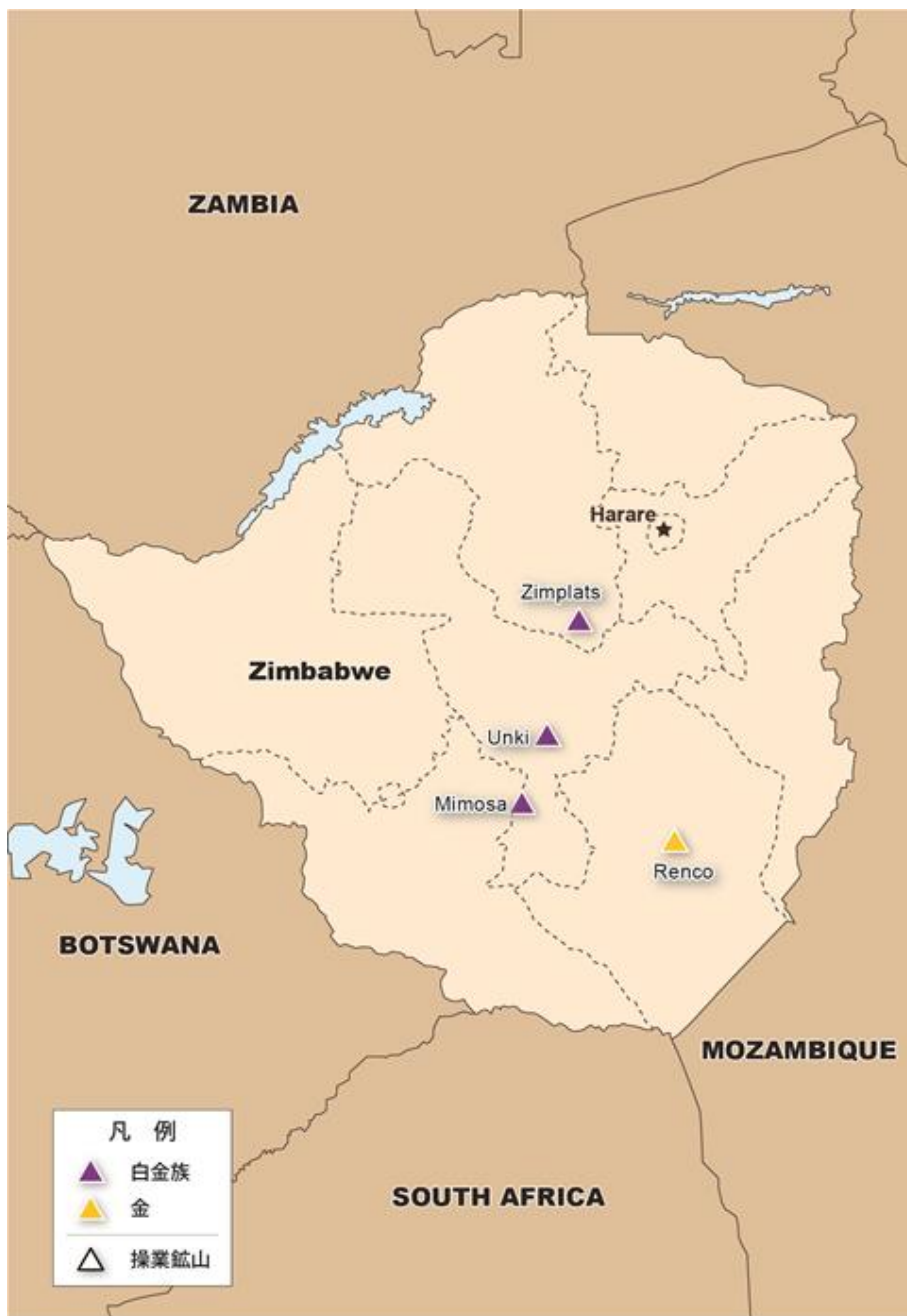


図 1. 主要鉱山・プロジェクト位置図

5. 探鉱状況

プロジェクト名	鉱種	保有企業(権益：%)
Arcadia	リチウム(リシア輝石)、タンタル	Prospect Resources Ltd (63), Farvic Consolidated Mines Pvt (27), Private Interest (10)
Chisanya	リン酸	Prospect Resources Ltd. (70), Farvic Consolidated Mines Pvt (30)
Darwendale	白金、金、銅、ニッケル	000 VI Holding, Government of Zimbabwe, Russian Technologies State, Government of Russia ジンバブエ政府 (50)

Globe	グラファイト、銅、亜鉛、銀	Premier African Minerals Ltd(100)
Good Days	リチウム、タンタル	Prospect Resources Ltd (70)
Great Dyke	白金	Government of Zimbabwe (50)
Hunters Road	ニッケル	Bindura Nickel Corp. Ltd. (100)
Kamativi	錫、タンタル、リチウム	Chimata Gold Corp. (60), Government of Zimbabwe, Private Company (40)
Katete	レアアース	Premier African Minerals Ltd. (100)
Sabi Star	レアアース、タンタル	Mezzotin Minerals Inc (100)
Shamva	リチウム	Mirrorplex Pty Ltd (80), Six Sigma Metals Ltd. (20)
Zulu	リチウム、タンタル	Premier African Minerals Ltd. (70), Cadence Minerals Plc (30)

出典：各社、Annual Report 2017、African Mines Handbook 2018

## 6. 我が国との関係

### (1) 日本への輸出

表 6-1. 日本への精鉱・地金輸出量（グロス量）

鉱種	2015年 (t)	2016年 (t)	2017年 (t)	対前年 増減比(%)
クロム フェロクロム	2,870.0	503.4	734.5	45.9

出典：財務省貿易統計

### (2) 日本企業による投資状況等

鉱業セクターでの投資は特になし。

## 7. その他トピックス

- ・ 2017年1月、チダクワ鉱山・鉱業開発大臣は韓国との鉱業向け融資の合意を発表。
- ・ 2017年5月、ジンバブエ政府は豪企業 Kelltech 社と3億US\$の白金製錬所建設事業契約に署名。
- ・ 2018年5月、豪 Prospect Resources 社は、ジンバブエにある Arcadia のリチウム鉱山第1期プロジェクトに対し5,500万US\$を融資すると発表。14か月後、輸出用精鉱を生産開始する見込み。

(2018.9.11 ロンドン事務所 ザポロフスキ真幸)